

平成 28 年度 社会福祉法人よこすか黎明会 事業報告書

昭和 26 年 3 月 29 日施行の「社会福祉事業法」は、平成 12 年「社会福祉法」への改名等、変わりゆく社会構造に対応しその都度改正を重ねてきた。平成 25 年には、内閣府の「規制改革実施計画」により、全社会福祉法人の財務諸表の公表。同 8 月の非課税扱いに相応しい地域貢献について。平成 26 年 6 月の「規制改革実施計画」では、介護・保育事業等における経営管理の強化とイコールフットイングの確立。と「政府税制調査会」による民間事業者との競合関係を検証している。さらに平成 27 年 1 月「自由民主党社会福祉法人改革プロジェクトチーム」による社会福祉法人改革に関する提言と、「社会保障審議会福祉部会」での審議の結果、①法人運営におけるガバナンスの強化、②透明性の確保、③内部留保の明確化と再投下等を網羅した「社会福祉法等の一部を改正する法律案」を平成 27 年 4 月閣議決定した。後、衆、参両院の審議を経、平成 28 年 3 月 31 日制定。翌 4 月 1 日一部施行。平成 29 年 4 月 1 日全部施行に至った。よって平成 28 年度当初より、神奈川県及び関係団体主催の説明会、講習会に参加、制度改革の主旨及び内容理解に努め、事務執行及び調整の結果、①定款変更認可申請書の提出と認可、②評議員選任・解任委員会の設置と委員の選任、③評議員、理事・監事等役員再編成を完了したところである。一方、平成 28 年 7 月 26 日「相模原津久井やまゆり園」殺傷事件を契機として「共に生きる社会の実現」、「利用者意向の尊重」、障害者支援施設の「適正配置・適正規模」と「拠点施設の機能強化」が再認識された年度であった。以下 役職員が一丸となって活動した 365 日の事業結果である。

1. 実施事業の種類

No	事業所名	事業内容	No	事業所名	事業内容
1	横須賀ホーム	障害者支援施設 入所支援事業 定員 40 名 (現員 40 名)	4	横須賀ホーム	指定日中一時支援事業 (実績 60 人 172 回)
2	横須賀ホーム	障害者支援施設 生活介護事業 定員 50 名 (現員 48 名)	5	はやし生活ホーム	指定共同生活援助事業 定員 4 名 (現員 4 名)
3	横須賀ホーム	指定短期入所事業 定員 4 名 (実績 152 人 928 日)	6	横須賀ホーム	特定相談事業 (実績 48 名)

2. 事業の結果

- ① 「支援Ⅰ」 障害者総合支援法の新体系「障害者支援施設(施設入所支援)(生活介護)事業」に移行して 7 年目。入所延べ 480 名、通所 84 名の安心、安全な支援に努めた。家族、後見人等とは年 2 回のケア・プラン、モニタリング面談を実施。専任相談員による「サービス等利用計画書」16 名、「モニタリング」32 名分を作成、届出た。
- ② 「支援Ⅱ」 短期入所事業 152 人 928 日、日中一時支援事業 60 人 172 回を実施。地域の福祉ニーズに対応した。
- ③ 「保健」 年 2 回の健康診断他各種諸検査を実施。結果入院 1 名(難治性胃潰瘍 男性)、その他通院は 20 名減の 169 名、在園利用者の死亡は 0 件であった。
- ④ 「事故」 園内事故は 43 件、内横須賀市への報告は 14 件(所在不明 3、誤嚥 1、投薬関係 6、裂傷 2、ノロウイルス 1(利用者 11 名、職員 4 名)、インフルエンザ 1(利用者 16 名、職員 2 名))。ヒヤリハットは 2 件減の 89 件であった。
- ⑤ 「日中活動」 「製パン(朝食≒2000 食)・製菓」、「指編マット、タワシ作り」、「椎茸栽培」、「育苗」、「ソレイユの丘清掃作業」等により 182 千円増の 1,391 千円余の売上げを得、利

用者に報奨金≒530 円/月(総計 308 千円)を支給した。

- ⑥ 「行事」 ①6/10 三浦市潮風アリーナにて「スホ・レク」(利用者 49 名、家族 28 名、職員他 35 名 計 112 名参加)。②8/10「夏祭り」(利用者 50 名、家族 32 名、他清光ホーム、創生舎の協賛他、計 115 名で実施)。③10/6～7「伊香保温泉宿泊旅行」(利用者 48 名、職員他 35 名 計 83 名参加)。④2/17 作業棟他にて「椎茸祭り」(利用者 47 名、家族 28 名、職員等 35 名、計 113 名参加)の植菌作業他を実施。園生活を豊かなものにした。
- ⑦ 「地域交流」 県知的障害福祉協会横須賀・三浦地区会行事 11/8～11「ふれあい作品展」(於・ショッピング)当番幹事、11/12「ふれあい広場」(於・市福社会館)、に出店。利用者作品等 84 千円余を売上げ、地域関係者と交流。「施設は地域の一部である」を実践した。
- ⑧ 「オンブズ P」 同じく横須賀・三浦地区会による本事業は 16 年目となる。年 3 回利用者 4～5 名の面談。行事交流 3 回を実施。利用者及び家族との信頼関係を深めた。
- ⑨ 「苦情解決委員会」 職員言動に対する苦情 1 件、担当職員等で謝罪。他、横須賀・葉山農協との預金取扱い「包括委任契約」の完了。成年後見人選任 16/48 名を再確認した。
- ⑩ 「備品等整備」 マイクロバス買替え 4,765 千円、セコム防犯システム整備 968 千円、新作業棟什器 1,798 千円、屋上、ベランダ等修理 2,484 千円、南斜面樹木伐採 983 千円、印刷機 780 千円、コピー機 990 千円、総計 12,768 千円を整備した。 亦、9 月 27 日新作業棟 216.38 m²の保存登記を完了した。
- ⑪ 「待遇」 福祉・介護職員処遇改善費 12,792 千円を受給、3 月期末時(本俸×≒2.0ヶ月)を完全支給。亦、短期入所事業 1,196 千円を人事考課により全職員に出来高配分した。(但し、処遇改善費の配分、支給方式が、県内法人毎で千差万別。29 年度精査の要あり。 尚、法人全体の人件費率は 63.77%であった。
- ⑫ 「職員研修」 職員の資質向上を目途に、自己研修(手当 1 回 5000 円×4 回)を奨励。 自己研修延べ 126 名。出張研修延べ 31 名。園内研修(接遇等)3 回、54 名。総勢 211 名が学習した。 他、介護職員初任者研修 3 名。中型自動車免許 5 名。介護福祉士 5 名。知的障害者援助専門員 2 名がその資格を取得した。
- ⑬ 「人材確保」 生活支援員 1 名の退職に対し、女性生活支援員 2 名(内専門校 1 名、高卒名)を確保した。(但し、非常勤職員定年等で 6 名退職。その都度補充した)
- ⑭ 「家族会」 例会 2 回、総会 1 回、労働奉仕 2 回、新年会 1 回(1/14 家族会 15 名)及び四大行事の参加と、モニタリング面談 2 回で意見交換、交流で信頼関係を深めた。
- ⑮ 「その他」 本年 12 月より、隣組 20 軒との交流を推進、干支、記念誌、ホームページの配布を開始した。 その他 6 月法人ホームページをリニューアル資産公開等に備えた。

3. 役員会の開催

期 日	議 題 等		場 所	出 席 者
05/11	監事監査		横須賀ホーム会議室	監事 2 名 理事長、副園長、事務員
05/18	第 40 回理事会、第 30 回評議員会	平成 26 年度事業、決算報告、監事監査結果報告他	横須賀ホーム会議室	理事 5 名 監事 2 名 評議員 12 名
12/07	第 41 回理事会、第 31 回評議員会	制度改革、定款変更認可申請、評議員選任・解任委員会細則他	横須賀ホーム会議室	理事 6 名 監事 2 名 評議員 13 名
03/15	第 42 回理事会、第 32 回評議員会	平成 29 年度事業計画、当初予算、評議員選任・解任委員、評議員推薦他	横須賀ホーム会議室	理事 6 名 監事 2 名 評議員 13 名
03/21	第 1 回 評議員選任・解任委員会	評議員 7 名の選定	神奈川県社協会議室	外部委員 1 名、委員 2 名 理事長他 1 名